



# 一般財団法人沖縄県環境科学センター

## 2030年のあるべき姿(ビジョン)



健康の保持増進に必要な食品・飲料水並びに生活環境の保全及び管理に関し必要な検査・調査研究・啓発等の事業を行うことにより『沖縄地域社会がより健全で持続可能な発展をしていること』が目指したい社会(目標)である。目標の達成のために、県民の生活や各種産業の持続可能な発展に不可欠で基礎となる取り組みとして、有害物質、感染症、食や農林水産物の衛生管理等の安全・安心に関する対応及び自然環境の保全・再生等の対応を促進することが課題である。「認証機関において特に注力する活動・取組」に掲げる事項の実践によって、目指したい社会(目標)を実現することを取り組みの方向性とする。

## 認証期間において特に注力する活動・取組



詳しくはコチラ

### 取組概要

<b>経済</b>	<b>水産HACCP<sup>※</sup>の普及促進及び維持継続</b> <small>※水産HACCP:水産物加工施設・流通施設における食品の安全性を確保するために危害要因を分析し管理する手法に基づく認証</small>	食品の安定的な供給体制の確立と、特に水産関連の販路拡大に向けて、衛生管理面の水準向上のためHACCP認証取得のためのサポートを行う。
<b>社会</b>	<b>アスベスト分析体制の強化と報告書発行部数の増加</b>	法改正によりアスベスト有無に関して有資格者が事前調査を行い、報告書を提出することが義務化されたため、有資格者を増やし体制を整えるとともに、報告書発行部数の増加を目指す。
<b>環境</b>	<b>外来種対策の推進</b>	生物多様性が高い一方、外来種の侵入等環境負荷に対して脆弱な沖縄県で、外来種対策として影響調査・捕獲・監視・人材育成や技術開発を行い、世界自然遺産地域を含む生物多様性保全に貢献する。